





百人一首

天知下里

煤

唐



衣

衣

衣

衣

衣

百人一首

天知下里

煉のたふわが乃

唐芸と戸紙あ

わの衣衣の竈の如き
は



持統天皇

ふり過る友も

白妙

衣

ふ

あまの

子山

柿本人麿

足

東の

山

れ

ちの

ち

乃

たう

を

い

あ

た

山邊赤人田籬の

うらに

うらいて

五つ子

雪

白妙の

方

萬石乃

河

言

寄小

あふ

糸久

あく

麻乃

時中

猿丸大吏

ふ

行く

秋ハ

山日

家

七

中納言

家持

鵲乃

橋ふ

渡り

しるし

みづか

寂

素

より
更けり

安倍仲丸

天々原

みづか

三笠乃山

出
なり

永唐ハ部の

を川に

一のそ

信也を

宇治山と

人ハ

云也

森撰

法師

花の

又ハ

小

野

わりの

に

もふ

うわ

か

小

町

あ

光

で

い

は

小

も

是々

北

蟬

九

くもくも

くもくも

くもくも

通板の

美

参議院

和田原

八十嶋

くもくも

あむと

くもくも

くもくも

くもくも

蟬

くもくも

初舟

僧

通昭

うら

し女の

婆

丁津風

くもれ

いし路

吹

志

し

し

筑波峯の

うね

いふ路

水無能

陽成院

川

あうつりく

測と

いふ路

年々のく乃

思ふも

ふ

神は下

うし初

秋のく

日

河原左大臣

光孝天皇

まゐる

たえ

春日野

出く

吾

素梅

わづらひに

雪の梅

三創いさく山乃峯生

為松

以今

海王

中納言行平

茅紫屋破

在

神代

原

是す

業

龍田河

平

ひ

印井

朝

臣

水々々々

孫原敏行

朝ト

乃

通

位の江れ

境

語

爰

浪

人目

る

人々

難波浮る

声れる

あゝ北せ

ていゝや 伴

元良
祝王

所

は

し

俺
れ

あ

し

や

同

於
由

り

今
こ

ふ

あ、月乃石明の

月

こ

は

素
性
は
師

あくつらに輝のくさ木

か

風を

あ

し魚

山

山鏡文屋康秀

大江千里

花

とけ

月三六

の

ち日

秋よ

あふ

あ

祿

水

や

わ

菅家ゆゑ

麻とよ

あふ

手向

お糸の綿

神とよ

山

斗

名にふく合坂山とよ

味くくくくく

母の三條石大信

貞信云小倉山峯の

紅葉を心取

いま一交

清年

いふ

いふ

いふ

中納言急補

あつ

あつ

川

く

山 里々

源 宗平

胡

臣

冬 子

河 花

さ

河 花

け ろ

人 々

弟 々

お も

細

の れ

は

こ め

凡 河 内 躬 順 心 あり

お ら 々

初 霜

の

玉 々

の れ

花

白 菊

の

晨明の

はまなく

みく

刈ふ

は

うゝゆゑ

亡生忠岑

朝郎

坂上

ふ

は

の

是

刈

昔

野の

月

は

は

あ

は

言

春通

刈樹

山河

風の柵

かき

なれぬあふぬ

ふき

あ

紀友則久晴光の

ふき

ふき

ふき

花

のちる

孫原無風

誰をうそくしん

字砂乃

松

とひし乃三

乳多可

紀貫之入い

毛し野古あふ

花曾無し乃

香しほいけ

それい

う、おの

清原 明也

深養父 万を

夏乃 妻、屋、らん

もう、らんじ

文屋朝康

白痴、

風の

あ、い、を

秋の、

は、あ、ふ

い、あ、ね

玉、そ、ら、わ、け、る

いさゝか少人の命
乃

をい思けす
ね

ちひて
ありれ

石道

その細竹

原

もわて

森議

等

人の

恋

思ふ

浅茅

生れ

あ

は

ふのくはと

いんし
あし
くわ

わのふと

いんし

くわ

千恵威

神

立にきり

人

ふ

くわ

いんし

あ

に

文生

あ
名

ふ

忠見

いんし

清原
元輔

と

ら

の

松山

の

浪

神を

水

志

あなみくの後

れ心斗くぬき音ハ

よをみわいはわを

待中納言篤忠

中納言朝忠

逢春の

う

ね

て

た

あ

中

海

新

身

後徳云

あ

あ

て

ふ

あ

か

あ

あ

曾祿好忠

由良

のうを

わろ船人

様紙

毎

え

恵乃

みり

ふか

けい

きん

な

秋

八重澤志

まろ玉とく

き

ふ

きん

恵慶

法師

風波浮たゝる川

波れをのこ

のこ

くたすものをいふ

はる

源重之

清頃と清古の

焼火乃

はる

はる

大中臣能宣朝臣

はる

はる

物

はる

はる

考りた

め

初より

はる

も
う

おもひ

そ

非

命

は

なく

孫原

義

孝

友原實方朝子くこ

ふ

は
やい
る

の

は
り

こ
し
く

も
はる

おもひを

明道信原孫
松久

右大將

糸の道綱母

7

款行

保

二

独

久

3

物

9

子

命めいも

今日けふををるの

まへまへににまへまへ

初末

いさいさの

儀同三司母

瀧乃音は経て久し頃

大納言

たふわさともふ流て

公任

ふ紙表より斗終

和泉式部あらん

此世外の思ひ

世に今世も

花あふやうもれ

紫
こしや

式部
それ

め
お

あ
て

雲
れ

月
夜
乃

有山

徳名野

合

河原

武

大

燦々

いへ

と

人

位

三

か
ぬく

あ

小

あ

あ

あ

月

あ

寝る

赤

門

小式部内侍

大江山生野道のさそ

きふもさるゝみす

天乃情をく

伴珠

ふりい

わら

大僧

ふみ

伴

ふりい

都の重橋

ふ九

ふ

夜と籠てさり乃

室吉いふふとそ

ふ近坂の開ハゆ

ろ所清水納言

今ハ人ふ

奇

傳あり

おふ

て

らん

こ斗を

由

れ

左京大夫

道雅

欽中納言
定賴

あき
し
の
細
代
ふ

字法乃

川籍

相撐恨侘不干

袖

田疇有物

遠

慈仁枵南

名古楚惜
毛礼

大僧正行尊

諸

家

山

れ

小

知人

非

春乃

松

なる

松

い

きん

名

今

周防

内侍

三條院

月印

心

あ

玉

い

恋

い

あ

い

能因法師

あ

清室

い

あ

龍田

い

錦

い

良暹

法師

河

金

子

い

あ

し

い

色

同

秋乃

接

く

夕

秋風う吹

田

大納言 經信

信

音しすし師の

何い波

浪れ

祐子内親王家純子

かきや
袖の

やま

きん

權

中納言

庄后

き
砂れ

おのり

櫓

外山の

家

きん

源後頼朝長うふ

けろくをえはせし山下

風もけりしれぬ

八坪の地の城

藤原

基後

病を

命を

あはれ

ふしの

秋も

いぬ

うる

想
玉

法性寺入道前関白太政大臣

かしの原

漕わく

く

志

言

久形乃

言升

瀬

も

無は

崇徳院

瀬を

く

見

若に

て

瀬河の

く

も

河

ふ

点

日

魚

あ

源魚昌

淡路島

夜

寝覺

かふ千尋の

湊磨

園

守

きく
に

きく

雲乃

り積

きく

ふ

ふ

け

月乃

凡京

大吏頭輔

好風了た

侍賢門院

堀河

王

の

永

無

心

心

乃

お

へ

今朝

ゆ

月

残

れ

奇

晨

藍

乃

啼

け

才

紙

後

詠

大

寺

左大臣

道円法師

皇太子

お母の体よ

涙がよき

命いあらば

おき

いれ入山乃

廉

おく

し

そ

皇太子

大吏後成

鳴

な

歌

世中より

有原

清猶

胡

今之志

一

おろ

く

お

又此

三の

ふ

ア

終夜物思

あふ

あふ

後惠法師

我

いふ
かほあり

西行法師

たふ

うさ
月や
のこ

於
家

渡

外

急雨の

いふ

病

ま

桂

落

秋

糸

のこ

夕暮

寐蓮

龍波江の

し

皇太后院

利安

蓮

ふね乃

一巻

波江の

し

玉は清くを

あ

あ

あ

事

子

内

し

し

す

親王

殿後門院

小島

大猫

雲

三階

神

ふか

わき

わき

かき

後京極持政太政大臣

きくき啼や霜の

ふりり衣

汗

敷

うき

祓

獨

ん

二條

院

恒子

三

み

う

讃岐

吾袖

仲乃

ふ

も

そ

人

し

世中々常

れ

諸

泉

鎌倉

小舟

右大臣

綱

色

恭議雅經

御吉

野の

山火風

さうあ

あつし

衣掛や

おひきかく

いよせの

氏日

掩り

前大

傍心

いり立松小

慈同

早瀬の神

花はふ風のふれ

入道 市井にて

ふれりものぞ

大改 わり

大改 なる なる

待中納言定家

こぬを戸川に

海乃

夕なれ

焼や藤垣

の所をふれ

從二位家隆風楚

代久奈良乃

曾

夏

晨

暮者

夕

新留志

御襖

那利

氣類

人色竹

出

う

後鳥羽院

あら

さく

あ

物

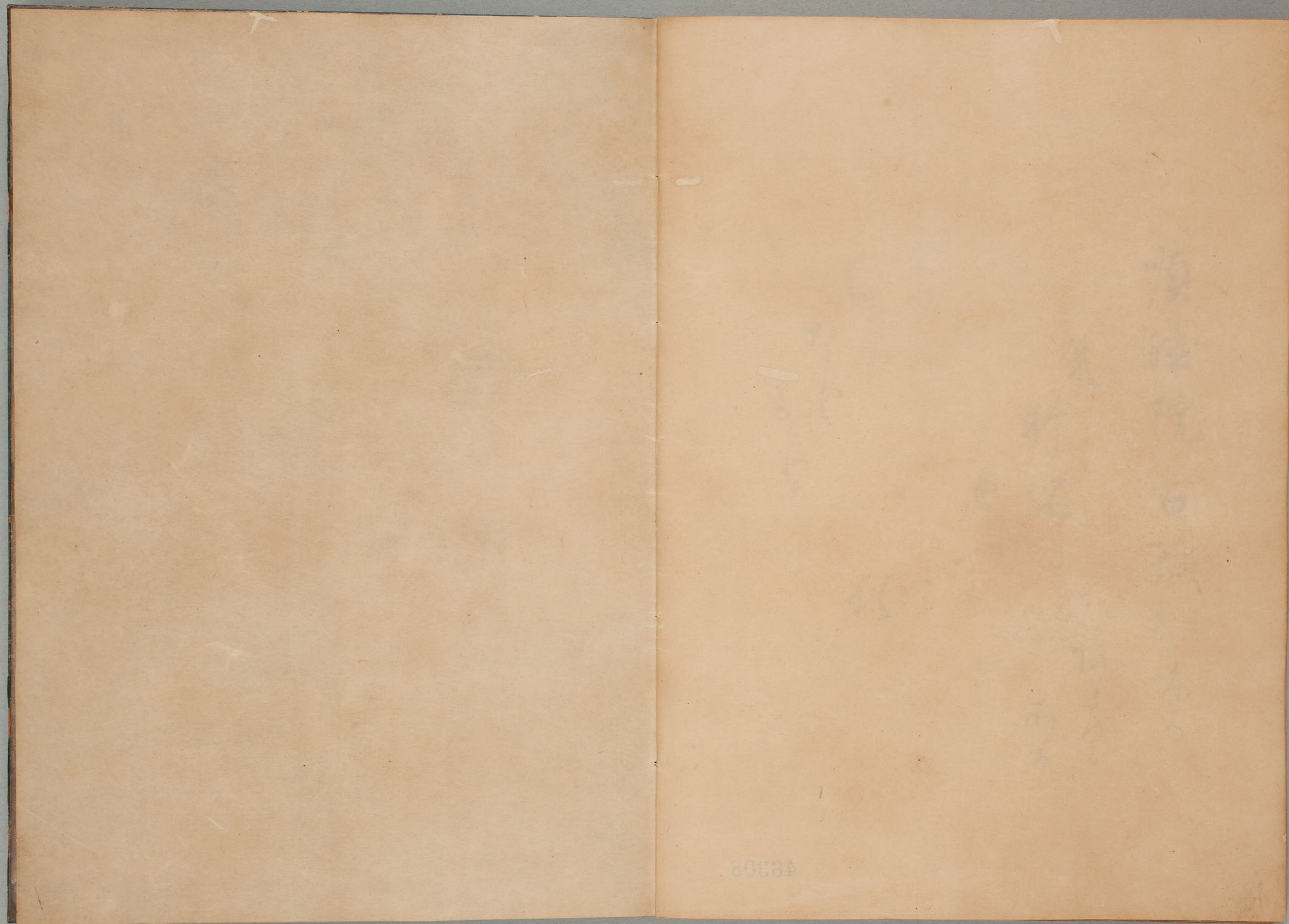
順徳院 石城 々々々

糸 竹端の 何々々
あ

思ふ

松

し
た
ま



48308



